

外出レクリエーション「釣り堀体験」

釣りに
はてし



「魚釣りがしたい!」という利用者さんの声にお応えして、今回は希望者の方々と一緒に、近くの釣り堀へ外出してきました。季節は秋の始まり。心地よい風が吹く中、久しぶりの外出に皆さんの表情もどこかうきうきとしていました。出発前には「釣れるかな」「昔はよく行ったんだよ」といった会話も聞かれ、道中からすでに楽しい雰囲気にも包まれていました。

現地では職員が付き添いながら、それぞれが思い思いに釣り糸を垂らしました。初めは「どうやるんだっただけかな」と戸惑う姿も見られましたが、すぐにコツを思い出し、真剣な表情で水面を見つめる皆さんの姿が印象的でした。静かな時間の中にも、時折「かかった!」「惜しい!」と歓声が上がり、笑顔と笑い声が絶えませんでした。

今回特に印象的だったのは小島さんのエピソードです。後日お話を伺うと、「30年ぶりでもとても楽しかったよ」と少し興奮気味に語ってくださいました。釣れた魚は小ぶりだったものの、竿を伝わる“引き”の感覚に夢中になり、魚との駆け引きを存分に楽しんだそうです。その表情からは、まるで昔に戻ったような生き生きとした輝きを感じられました。

釣り堀でのひとは、単なるレクリエーションにとどまらず、利用者さんそれぞれが過去の思い出を振り返り、自然と触れ合う大切な時間となりました。「また行きたいね」「次はもっと大きいのを釣りたい」といった声も多く聞かれ、次回の外出への期待も膨らんでいます。

今後も春日部ロイヤルケアセンターデイケアでは、利用者の皆さんの“やってみたい”という気持ちを大切にしながら、思い出に残る活動を企画していきます。短い時間の中でも、自然に触れ、笑顔になれるような外出レクリエーションを続けてまいります。 2025.10.22

夢に向かってリハビリを頑張ろう!